

## 1. IF 関数(条件分枝)

#### 1-1 IF 関数

「IF 関数」では条件を設定し、その条件を満たす場合、満たさない場合にそれぞれ指定した値を表示させることができます。

#### ■IF(イフ)関数

書式 =IF(論理式,真の場合,偽の場合)
 論理式:判断の基準となる数式を、比較演算子を用いて指定します。
 真の場合:論理式を満たす場合(結果がTRUE)に返す値を指定します。
 偽の場合:論理式を満たさない場合(結果がFALSE)に返す値を指定します。
 文字列で指定する場合、ダブルコーテーションで囲みます。空欄を返す場合ダブルコーテーション("")を指定します。

<sup>●</sup>
小操作 筆記と実技の合計点が 150 点以上ならば「合格」そうでない場合「不合格」を表示します。



①関数を挿入するセルを選択します。【F4】セルをクリックします。

②関数を挿入します。[数式]タブの[関数ライブラリ]グループの[論理]ボタンから、[IF]を選択します。

[論理式]に「合計点が150点以上」ならばという判断の基準となる数式を設定します。 ③合計のセル【D4】セルをクリックします。[論理式]のボックスに「D4」と表示されます。

D4	*	: 🗙	<ul> <li>V</li> </ul>	f fx	=IF	(D4)			
	А	В	С	D	Е	F	G	H I J K L M	
1	社内技能	じ おうちょう しんしょう しんしょ しんしょ	ŧ					関数の引数	
2 3 4 5 6 7	<b>氏名</b> 浅井学 吉本加奈 斉藤健二 三木聡	筆記 89 56 95 100	実技 75 45 85 95	101 195 195	<b>傾位</b> 4 6 2 1	評価A =F(D4)	評価B	IF     論理式 D4     画 = TRUE       真の場合     画 = すべて       偽の場合     画 = すべて	
8 9 10 11	小山内静子 朝倉義男 田中守	78 90 45	95 65 50	173 155 95	3 5 7			= 論理式の結果 (TRUE か FALSE) に応じて、指定された値を返します。	
<b>4</b> 5	浅りの式「:	>=1	50」	をキ-	ーボー	-ドから入:	カします。	関数の引数	
								IF 論理式 D4>=150 歴	5

論理式を満たす場合、返す値を入力します。 ⑤[真の場合]のボックスをクリックして「合格」と入力し[偽の場合]のボックスをクリックます。 論理式を満たさない場合、返す値を入力します。 ⑥[偽の場合]のボックスに「不合格」と入力します。 数式バーには「=IF(D4>=150,"合格","不合格")」と表示されます。 ⑦[OK]ボタンをクリックします。

1F	~	$\sim$	1	fx	=16	(D4>=150,	"合格","不会	う格~)								
2.4	A	В	С	D	Е	F	G	н	I	з	К	L	м	N	0	P
1	社内技	能試驗	ê													-
2		440.00		A	ME 2.4						膜	数の引数			?	×
3	法书	264 00	王臣	合計	1.2111	STIDA	GIV TAIL	6			157					1
- <del>1</del>	コスポテ	69	45	104	4	-01040-150,	1 1 1 1 1	IF								
6	音·林伯宗 音·陈伟	96	85	180	9				法理戒	D4>=1	50	14	- TRUE			
7	三木牌	100	95	195	1											
8	小山内静子	78	95	179	3				真の場合	"合格"		1	- "合格"			
9	朝倉義男	90	65	155	5				体加速合	"不合格"	•	14	- <b>"</b> 不合	ex.		
10	田中守	45	50	95	7				1400 16 10					-		_
11													- "合格"			
12								論理式の結	果 (TRUE か F/	ALSE) に応	じて、指定されが	た値を返します。				
13																
15										编建立	には枯光刀	TRUE BICK F	ALSE ILIGAN	8. 5UKI229(7)	御音走しまり。	
16																
17																
18								-								
19								数式の結果	- 6MB							
20								TORENDA	a this					OF	* 10° 4	eu
21								TONE BOOM	(12/10)					UN	+17	2.700
22								12.0						~		

【D4】セルは 150 点以上なので【F4】セルに「合格」と表示されます。数式をコピーします。 ⑧【F4】セルを選択しセルの右下隅の■(フィルハンドル)にマウスポインターを合わせ「十」の形に変わったら、 ここではダブルクリックします。

【F10】セルまで数式がコピーされ数式の結果が表示されます。



#### 1-2 IF 関数のネスト

関数の引数の中に関数を使用することを、「関数のネスト」といいます。「IF」関数を2つ組み合わせて使用 することで、処理を3つに分けることができます。

# 哈操作 筆記と実技の合計点が 180 点以上ならば「マイスター認定」、150 点以上なら「合格」 150 点より低い場合、「不合格」を返す処理を実行します。

数式:=IF(D4>=180,"マイスター認定",IF(D4>=150,"合格","不合格"))



①最初の IF 関数の論理式の設定は、1-1 の操作と同様です。論理式は、「D4>=180」です。 論理式を満たす場合、返す値を入力します。

②[真の場合]のボックスをクリックして「マイスター認定」と入力し[偽の場合]のボックスをクリックします。 論理式を満たさない場合に返す値、ここに IF 関数を挿入します。

③関数ボックスの▼をクリックして「IF」を選択します。※一覧にない場合「その他の関数…」から選択します。

IF 💌	: >	< 🗸	/ fx	=11	=(D4>=180,	<b>、</b> マイスター	忍定")									
IF N	в	С	D	Е	F	G	н	I		J	К	L	М	N	0	P
DSUM	能試	¢									8	8****			?	×
SUMIFS	筆記	宝枝	승計	順位	評価A	評価B					₿	自我の与日教			·	
COUNTIF	89	75	164	4	合格	ター認定")	IF	_					_			
COUNT	56 95	45	101	6	<u>不合格</u> 合格				論理式	¢ D4>=	180	1	🔄 = FALSI	Ξ		
AVERAGE	100	95	195	1	合格				真の場合	s "マイスs	9-認定"	5	🔄 = "マイス	ター認定"		
SUM	78	95 65	173	3	<u>合格</u> 合格				偽の場合	ŝ		5	🖬 = इंग्रेट			
- HYPERLINK - その他の関数	45	50	95	7	不合格								= FALS	=		
12							論理式	の結果 (TR	NUEから	ALSE) (こ虎	ちじて、指定され	た値を返します。	•	-		

IF 関数の[関数の引数]ダイアログボックスが表示されます。

④[論理式]「D4>=150」、[真の場合]「合格」、[偽の場合]「不合格」と入力します。

数式バーで「=IF(D4>=180,"マイスター認定",IF(D4>=150,"合格",不合格))」と表示されたの を確認し、[OK]ボタンをクリックします。

⑤【G4】セルに「合格」と表示されます。オートフィル機能を利用して式をコピーします。

G4	Ψ	$\mathbf{X}$	🗸 fs	: =IF	=(D4>=18	0,"マイスタ	-認定	",IF(D4)	>=150	),"合格",	不合格	))							
_	A	во	D	E	F	G		н		I	J	К	L		М	N		0	Р
1	社内技能	能試験											関数の	引数				?	×
2																			
3	氏名	筆記実	支合計	順位	評価A	評価B		IF											
4	浅井学	89	75 164	1 4	合格	;",不合	洛))			50.78	P D4s	150		PL-	TOU	-			
5	吉本加奈	56	45 10	1 6	不合格					調理工	04>=	130		62	= IKU	E			
6	斉藤健二	95	35 180	2	合格					真の場合	* "合格"			1	= "合格	5"			
7	三木聡	100 !	95 195	5 1	合格											-			
8	小山内静子	78 !	95 173	3 3	合格					偽の場合	3 不合格	ł		-	-				
9	朝倉義男	90	35 155	5 5	合格														
10	田中守	45 !	50 95	5 7	不合格										= "合析	¥			
11								論理式	の結果	(TRUE か F	ALSE) (C)	おじて、指定	Eされた値を返	回します。					
12				_			_				(the note	A 1-14561	m-toxtm4	S EAL CI		A-1=1=+40	7/##		-31007-4
- 4	A	BC	D		F	G	_				治のいる	11日 (Lida)語 わた坦	在式(U)結果) 合 EALCE i	パ FALSI おほまれ	ヒ じのつに場 主す		'ବୀ <u>ଅ</u> 'ଏ	抽座します。	18140
1	社内技能	[試験]					-					1 1/2/50	E (FALSE)	UNRCUL	4.2.0				
2							_												
3	氏名	筆記実技	승計	夏位	f TA	評価B				••••••									
4	<u> 浅井字</u>	89 75	5 164	4 2	祔谷 - ヘ+タ			数式の	結果 =	合格									
5	古本/川宗 文森健一	56 45	100	61		<u>小台格</u> マイマカー部	<del>o</del>												
7	三大松	100 95	100	1 4	11日 :北名	マイスジー記 フィフター部	定	<u>この関係</u>	のへい	<u>7(H)</u>							ок	<b>+</b> †	シセル
8	小山内静子	78 9	5 173	3 4	:林谷	合格													
9	朝倉義男	90 65	5 155	5 2	格	合格													
10	田中守	45 50	95	7 7	合格	不合格													
11																			

## 2. VLOOKUP 関数 1(表引き)

#### 2-1 VLOOKUP 関数

「VLOOKUP 関数」を使うと、参照用の表から検索値と一致するセルのデータを取り出して表示できます。



#### <sup>●</sup>操作 商品 ID を入力すると参照用の表から商品 ID と一致する商品名を表示させます。

①関数を挿入するセルを選択します。【C10】セルをクリックします。

②[数式]タブの[関数ライブラリ]グループの[検索/行列]ボタンから、[VLOOKUP]を選択します。 [検索値]を指定します。

③商品 ID を入力する【B10】セルをクリックします。[検索値]のボックスに「B10」と表示されます。 [範囲]を指定します。

④[範囲]のボックスをクリックして、参照用の表のセル範囲(【H10~J18】セル)をドラッグします。 [範囲]のボックスに「H10:J18」と表示されます。

4	Α	В	С	D	E	F	G	н	I	J	К	L	M	N	0	F
1			請	家書												
2	請求日	20XX/4/1														
3					(株)アカデ	ミック・ドラッグ									関数の引	擞
4																
5		赤睛	出 美衣子	様							VLOOK	UP				
6												検	案値 B1	.0		1
7	ご請	求金額		円也								1	範囲 H9	):J18		1
8												_				120
9	NO	商品D	商品名	単価	数量	金額		商品D	商品名	単価(税込)		9	番号			<b>E2</b>
10	1		JP(B10,H9:J18)					1001	マルチビタミン	1850		検索	方法			1
11	2						_	1002	EQSUB	830						
12	3						_	1003	12 9320	830						
13	4						-	1004	<u>ц-тле</u>	1950	指定された	範囲の1列	目で特定の	)値を検索し、指	定した列と同し	じ行にあ
15	6							1005	10.741	2200	必要があり	)ます。				
16	7							1000	カルニチン	3200					하는데지지	検索する
17	8						1	1007	トナリン	3000			1	東北加回 には専び たけ文語	この元與外で	1(東ボ91) ます。
18				4	計			1009	葉酸	C 1100						
19																

[範囲]は式をコピーしても、セル位置が固定されるように絶対参照で指定します。 ⑤[F4]キーを押し絶対参照にします。[範囲]が「\$H\$10:\$J\$18」と絶対参照となります。 [列番号]を指定します。参照用の表の商品名が入力された2列目を指定します。 ⑥[列番号]のボックスをクリックして、「2」を入力します。

[検索方法]を指定します。完全に一致する値を検索するので「FALSE」を指定します。 ⑦[検索方法]のボックスをクリックして、「FALSE」を入力します。[OK]ボタンをクリックします。

	A	8	C	D	E	Æ			man - Thinks	2
				「求書			10	8	周辺の51数	
	請求日	20)0(/4/1			(椎)アカデ	ミック・ドラック	VLOOKUP	100707	-	
							検索値	810	26	- 0
		赤	出 美衣子	様			範囲	H9:J18	16	- ("商品ID","商品名","単価(統込)";1
							网络韦	2	Es:	- 2
	C #	求金額		一円也			-	Falan	100	EN CE
	140	and an	2000	200	00-10	0.04	1((市力))方	ligise	ESS.	- FALSE
į,	NU	HH00D	H9:J18.2 falce)	49.10	教理	282			ana an an an an	-
	2	( ) (		-			指定された範囲の1列目で装	自定の価を検索し、指定し	、沈列と同じ行にある	6種を返します。テーブルは昇順で並べ替えてお(
	3			-			10安700939+			
	- 4	-	-	-			-	検索方法には検索種	と完全に一致する	直だけを検索するか、その近似値を含めて検索す
	6	ŝ					1	◎刀/3、45× 始末 = FA	11日(1日10月1日と二か ALSE)で指定します	00時来 = 1806 または香椿、元空一気の頃 1.
				1			4	1000000		
	7		1	-	2 =4	2				
	7 8									
	7 8				101		- worker			

式を確定すると「#N/A」というエラー値が表示されます。これは商品 ID の列に何も入力されていないため 表示されます。商品 IDを入力すると商品名が表示されます。次の項で商品 ID に何も入力されない場合 でもエラー値が表示されないように数式を変更します。



## 3. VLOOKUP 関数 2(IF 関数のネスト)

### 3-1 エラー値の回避(IF 関数のネスト)

商品 ID が入力されていないときにエラー値を表示しないようにするには、IF 関数と VLOOKUP 関数を 組み合わせることで回避できます。

IF 関数の「偽の場合」の引数に、VLOOKUP 関数の式を指定します。

数式:=IF(B10="","",VLOOKUP(B10,\$H\$10:\$J\$18,2,FALSE))

※空欄を返すように指定するにはダブルコーテーション("")を指定します。



# 哈操作 商品 ID に何も入力されていない場合は空白を表示し、そうでない場合は参照用の 表から商品 ID と一致する商品名を表示させます。

①【C10】セルに、IF 関数を挿入し、[論理式]に【B10】セルが空白ならばという条件を設定し、 [真の場合]のボックスに「""」を入力します。

論理式を満たさない場合返す値を入力します。ここに VLOOKUP 関数の式を挿入します。

②[偽の場合]のボックスをクリックして「関数ボックス」の▼をクリックして「VLOOKUP」を選択します。一覧にない場合、「その他の関数]から指定します。(1-2 参照)

VLOOKUP -	: [	$\times \checkmark f_x =$	IF(B10="	","")								
VLOOKUP		С	D	E	F	G	н	I		J	ĸ	c
PHONETIC ROUNDDOWN	赤	出 美衣子	様	IF			関数の	引数			?	×
RANK.EQ DSUM SUMTES	≥額		円也		論理式 直の場合	B10=""		-	TRUE			
COUNTIF	BD	<b>商品名</b> =F(B10="","")	単価		偽の場合			- -	র্শ			
COUNT その他の関数 14 5 15 6 16 7 17 8				論理式の結果 (1	「RUE か FAI	LSE) に応じて、推 偽の場合 には れだ	旨定された値を込 論理式の結果」 場合、FALSE	= 医します。 が FALSE でさ が返されます。	"" あった場合に	返される値を	指定します	。省略さ

③VLOOKUP 関数の引数を 2-1 の操作と同様に設定します。設定ができたら[OK]をクリックします。 数式をコピーします。商品 ID が空欄の場合でも商品名のセルにエラー値が表示されません。

A.			関	数の引数			4	×						
-	VLOOKUP					-							0.01.027	
		検索値	B10	15	- 0	010		$\times \swarrow f_x$	=0F( B1 0	e <sup>en</sup> , <sup>na</sup> ,VLO	OKUP(BI 0,\$H\$I	\$J\$18,2,FAI	se))	
2		10 10 10	\$H\$9:\$J\$18		- {"商品ID	1	в	c	清求書	E	F	G: H	1	- <u>1</u> ,-
0		列番号	2	1	= 2	"= M尔日 3	2000//4/1			(株)アカデ	ミック・ドラッグ			
		検索方法	false	1	- FALSE	5	赤日	: 美衣子	耧					
					=	° 7 ⊂∎	市金額		円也					
a lar	指定された範囲	の1列目で特	住の値を検索し、指定した	列と同じ行にあ	る値を返します。	9 NO	商品D	廣品名	**	教世	金額	₩HD	前品名	单值(接)
¢	\$275£/10776.74					11 2			-	-		1003	12471352	
			検索方法 には検索値と	完全に一致する	値だけを検索する	12 3						1003	Egstic	31
1			るかを、論理	直 (近似値を含	めて検索 = TR	13 4			-	-		1004	ローヤルセリー	1
			検索 = FAL	SE) で指定しま	<b>T</b> .	6				1		1006	コラーゲン	2
						16 7						1001	カルニチン	3
						17 8			-	0.98		1008	1000	
	TOTO OUT OF					10				OR		1 1001	28.95	

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

# 4. ROUNDDOWN 関数(端数処理)

### 4-1 ROUNDDOWN 関数(切り捨て)

「ROUNDDOWN 関数」では指定した桁数で数値を「切り捨て処理」できます。

#### ■ ROUNDDOWN(ラウンドダウン)関数

書式 =ROUNDDOWN(数値,桁数)
 数値:切り捨てる数値、またはセル参照、数式を指定します。
 桁数:切り捨てた結果の小数部の桁数を指定します。
 桁数に「0」をつけると、「小数点以下第1位を切り捨て」、「1」をつけると、「小数点以下第2位を切り捨て」、「-1」をつけると、「1の位を切り捨て」の処理を行います。

#### ⑦操作 消費税額を1円未満の端数(少数点以下第1位)を切り捨て処理します。

①関数を挿入するセルを選択します。【B5】セルをクリックします。

②[数式]タブの[関数ライブラリ]グループの[数学/三角]ボタンから、[ROUNDDOWN]を選択します。

[数値]を指定します。「請求金額」の8%の金額を計算する式を入力します。

③【B4】セルをクリックし「\*0.08」と続けて入力します。

④[桁数]を指定します。小数点以下第1位を切り捨て処理するので「0」を入力します。

数式バーには「=ROUNDDOWN(B4\*0.08,0)」と表示されます。

⑤[OK]ボタンをクリックします。

		B5	▼ :	× ✓ fx =ROUND	DC	) 000000000000000000000000000000000000	7	
					11			<b>F F</b>
				В	1			
		1	消費祝計算					関数の51数
		2						
		3	2t - 0 - 45	ROUNDDOUN(切り捨て)		100112201111		
		4	請水金額	3570	'		数値	値 84*0.08 题 = 285.6
		5	泪貨祝	=ROUNDDOWN(B4*0.08,0)	4		桁数	数 이 下下 = 0
		7			+		112.001	
		8						= 285
		9			Π	数値を切り捨てます。		
		10						た数 には数はたぜいはても注用のた数を指定します た数に色の数を指定すると
		44						竹鉄(には鉄値で切り捨てに結果の竹鉄で指定します。竹鉄に見の鉄で指定すると、 数値は小数占の左(整数部分)の指定した約(1 の位を 0 とする)に切り除て
	A			В				られ、0を指定するかまたは省略されると、最も近い整数に切り捨てられます。
1	消費税調	十算			+			
2						数式の結果 = 285	1	
3			ROUND	DOUN(切り捨て)		7.088業10.0.11 7(11)	÷2	
4	請求	金額		3570		<u>この関数のヘルノ(日)</u>		OK +PSEN
5	消費	税		285				
6								

 《STEP UP!》ROUND 関数 ROUNDUP 関数 指定した桁数で数値を「四捨五入」するには ROUND 関数、「切り上げ処理」するには ROUNDUP 関数を使用します。
 ■ROUND(ラウンド)関数 指定した桁数で数値を「四捨五入」
 書式=ROUND(数値,桁数)
 ■ROUNDUP(ラウンドアップ)関数 指定した桁数で数値を「切り上げ処理」
 書式= ROUNDUP(数値,桁数)

# 5. PHONETIC 関数(文字列操作)

### 5-1 PHONETIC 関数(ふりがな)

「PHONETIC 関数」を使うと、参照セルデータの入力時の変換前の読み情報をもとに「ふりがな」を表示 させることができます。

#### ■PHONETIC (フォネティック)関数

書式 =PHONETIC (参照) 参照:ふりがなに変換したいデータが入力されたセルを指定

#### ⑦操作 条件と一致する売上金額の合計を求めます。

①関数を挿入するセルを選択します。【C4】セルをクリックします。

②[数式]タブの[関数ライブラリ]グループの[その他の関数]ボタンの[情報]から、[PHONETIC]を選択 します。

[参照]を設定します。ふりがなを表示させたいデータが入力された氏名のセルを選択します。 ③【B4】セルをクリックします。[OK]ボタンをクリックします。

数式を確定すると【C4】セルにふりがなが表示されます。数式をコピーします。



# 6.日付と時刻の計算

### 6-1 TODAY 関数(本日の日付)

「TODAY 関数」を使うと、コンピュータの内蔵時計が指す本日の日付を表示することができます。 ブックを後日開くと、日付の再計算が行われます。

#### ■ TODAY 関数

```
書式 =TODAY()
引数の指定 ()の中の引数は指定しませんが()は入力します。
例:本日の日付が、2016年4月1日の場合
=TODAY()と入力すると「2016/4/1」と表示されます。
```

### 6-2 DATEDIF 関数(経過期間)

「DATEDIF 関数」を使うと、「開始日」「終了日」までの期間を指定した単位で求めることができます。 年齢、勤続年数、入会期間などを求める際に利用できます。

■DATEDIF (デートディフ)関数「開始日」「終了日」までの期間を指定した単位で返します。

書式=DATEDIF(開始日、終了日、単位) 開始日:期間の開始日を指定 終了日:期間の終了日を指定 単位:単位を指定

単位	内容	単位	内容
"Y"	満年数	"YM"	1年未満の月数
"M"	満月数	"YD"	1年未満の日数
"D"	満日数	"MD "	1か月未満の日数

#### ✓□操作「生年月日」から E2 セルの日付までの満年数を求めます。

①関数を挿入するセルを選択します。【F5】セルをクリックします。
 「DATEDIF 関数」は[関数の挿入]ダイアログボックスには表示されないため直接入力します。
 ②「=DATEDIF()」と入力します。
 [開始日]を指定します。
 ③()内をクリックしてカーソルを表示し、生年月日が入力された【E5】セルをクリックします。

E2		r : 🗙 🗸	fx =DATEDIF	(E5)		
	А	В	С	D	E	F
1	日付の言	†算2(DATEDIF	関数)			
2					2014/4/1	現在
3						
4	社員No.	氏名	フリガナ	部署	生年月日	満年齢
5	1	鈴木 悟	スズキ サトル	営業企画部1 課	1980/02/01	=DATEDIF(=5)
6	2	近藤 信二	コンドウ シンジ	営業部営業2課	1975/07/01	DATEDIF()
7	2	佐藤 新大郎	HLD 300000	公求ないし本課	1955/12/05	

④続けて「,(カンマ)」を入力します。

次に[終了日]を指定します。

⑤【E2】セルをクリックします。数式をコピーするので F4 キーを押し絶対参照で指定します。

E2		r : 🗙 🗸	fx =DATEDIF	F(E5,\$E\$2)		
	Α	В	<b>CATEDI</b>	F() D	E	F
1	日付の言	†算2(DATEDIF	関数)			
2					2014/4/1	現在
3						
4	社員No.	氏名	フリガナ	部署	生年月日	満年齢
5	1	鈴木 悟	スズキ サトル	営業企画部1課	1980/02/01	E5,\$E\$2)
6	2	近藤 信二	コンドウ シンジ	営業部営業2課	1975/07/01	

⑥続けて「,(カンマ)」を入力し、単位を指定します。満年数を求めるので「"Y"」を入力します。
 ⑦数式バーで「=DATEDIF(E5,\$E\$2,"Y")」と表示されたのを確認し[Enter]キーを押し数式を確定します。数式をコピーします。

F5 ▼ : X √ fx =DATEDIF(E5,\$E\$2,"Y")							
	А	В	С	D	E	F	
1	日付の言	†算2(DATEDIF	関数)				
2					2014/4/1	現在	
3							
4	社員No.	氏名	フリガナ	部署	生年月日	満年齢	
5	1	鈴木 悟	スズキ サトル	営業企画部1課	1980/02/01	34	
6	2	近藤 信二	コンドウ シンジ	営業部営業2課	1975/07/01	38	
7	3	佐藤 新太郎	サトウ シンタロウ	総務部人事課	1955/12/05	58	
8	4	山川 良子	ヤマカワ ヨシコ	宣伝部広報課	1969/11/29	44	
9	5	田野倉 美樹	タノクラ ミキ	営業企画部2課	1978/02/09	36	
10							<b>.</b>
11							